

Smile 弘前子育てマスタープラン（素案）に対するパブリックコメントの結果について

募集期間：平成23年8月1日～平成23年8月26日

応募件数：4件（2名）

番号	章・ページ	意見等	回答
1	P28	<p>子どもの教育環境と子どもの育ちへの支援（小学生期）について。</p> <p>学童保育体制の件です。やはり、一般的な勤務時間に対応した保育時間での開設をお願いしたいです。特に、長期休み（夏、冬、春休み）は、朝は、現状の時間では厳しいのではないのでしょうか。鍵っ子にするには、今は不安の多い世の中になりました。学童保育に預けっぱなしにするつもりはありません。なるべく、自分で面倒を見たいですが、仕事の時間内は、安全な場所で、子どもが過ごせればよいかなと思っています。また、地区の学童保育の施設は、子どもの数が増え、分割したりなどしています。児童館もバスで行く必要があったり、通学路としては、大変危険な道を通らないといけなかったりと、多々、親としては、不安を思えますし、不便です。</p> <p>他校のように、学校内になかよし会を開設することはできないのでしょうか。また、他地区にあるような、地域の皆が利用できるような施設は、やはりこの地域にも、そろそろ必要であると思います。その中に児童館的なスペースがあれば、とても子どもたちのためになると思います。</p>	<p>放課後児童健全育成事業（なかよし会・なかよしクラブ）は、子どもの健全育成を図るとともに、共働き家庭等を支援するため、原則として児童館・児童センター未設置の小学校区において、小学校低学年を対象とした学童保育を実施しています。少子化の進行により児童数は、年々減少していますが、核家族の増加や共働き家庭の増加、保護者の就労形態の多様化や女性の社会参加の増加により、学童保育の需要は増えている状況です。</p> <p>このような状況の中で、市では、子どもの安全と保護者の安心の確保のため、開設の場所、人数規模、指導員の資質向上等、国のガイドラインに沿った事業を実施していますが、なかよし会の時間延長については、今年度はモデル地区4か所を時間延長しました。今後も、地域のニーズを把握しながら柔軟に対応していきます。</p> <p>また、学童保育サービスの充実を進める一方、子ども達の人権の尊重及び健やかな育成の視点に立ち、子育てと仕事の両立及び家庭の子育て支援のため、地域の子育て支援能力の回復や職場における子育て支援など、社会全体で子育てを支えるための意識づくりを進めます。</p> <p>なかよし会の開設場所については、児童数や空き教室を含む学校施設の状況、周辺の公共施設の状況などを勘案しながら、検討していきたいと考えています。</p>

番号	章・頁-シ	意見等	回 答
2	P31	<p>子どもの安全の確保で携帯電話やインターネットの普及に関してフィルタリングの普及、情報モラルにかかる教育推進とありますが、実際に子どもたちの間ではそういったSNSなどで会ったこともない他校の子と友達になったり付き合う異性をそういったサイトで見つれたりというのはわりと普通に行われているような感じがしております。また、あるWebサービスではPH（チャットを利用した会話形式の恋愛行為）も先日目にしました。</p> <p>子どもたちのそういったことへの情報拡散の早さ、操作を覚えることの早さに大人はついていけないと思います。保護者に対してもそういった情報モラルや危険性の指導は必要だと思います。（しかし、学校で日中行われる講習会などですと仕事を休んでまで行くという人は少ないと思いますので、具体的には冊子を配るなどしての指導が妥当かと考えますか）</p>	<p>情報モラル教育に関しては、学習指導要領の総則において、各教科等の指導の中で情報安全教育の面も含めたモラルを身に付けることが明記されており、小学校及び中学校生徒指導連絡協議会等を通じて、その指導の徹底を依頼し、更には弘大ネットパトロール隊の出前授業や警察のサイバー対策室、電話会社による講座等を紹介し、その活用を促すことで各学校における情報モラル教育の一層の充実を図ろうとしています。これを受け、市内の小・中学校の中には、児童生徒や保護者を対象とした情報モラル教育に関する講演会等を開催している学校もあります。今後は、生徒指導状況を踏まえ、これまで開催していない学校へ働きかけるなど、開催校を増やしていきたいと考えています。児童生徒のSNS利用については、教育委員会指導課で実施しているネットパトロールにおいて、気になる書き込み等があれば、各学校に情報提供し、指導に当たってもらうことで、トラブルの未然防止に努めています。また、これまで教育委員会や弘前市連合PTA、各学校のPTA等が情報モラル教育に関する講演会等を開催してきましたが、今後は更に広く一般市民に対する情報モラル教育を推進するための講演会等を、教育委員会が中心となり開催していきたいと考えています。</p>
3	P34	<p>ひとり親家庭への自立の支援で「きめ細かな福祉サービスを提供し、親の自立に向けた総合的な支援を推進」とは具体的にどのようなものでしょうか？ もし、いくつかでもその具体的内容があれば掲載して私たちひとり親家庭がわかるようにしていただきたい。たしか、弘前市では母子家庭自立支援給付金制度があるはずで。そういった制度や内容（おおまかでけっこうです）も載せていただければ、市民にもよりわかりやすいプランとなると思います。</p>	<p>母子自立支援員や児童扶養手当などの代表的な施策を例示した表記に修正します。</p>

番号	章・頁-ㄗ	意見等	回 答
4	P34	<p>親力向上への支援とありますが、親だけでなく教育現場の先生方の資質向上も重要だと思います。子どもを取り巻く、私たち親自身だけでなく子どもたちの教育をする現場の先生方もどちらにも「〇〇力向上」というのは必要だと考えます。</p>	<p>ご意見のとおり、教員は学校教育を通して子どもの教育に携わり、また、大きな責任をもつことから、家庭教育と連携して、いわば、子育て力の向上を図っていきたいものと考えます。教育委員会では、全ての市立幼稚園、小・中学校に対して行っている学校訪問での指導・助言や教育委員会が主催する職務研修、校長会議等を通して、教員の服務や子どもや家庭との関わり方について、一層資質の向上が図られるよう、取り組んでいきたいと考えています。</p>